

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	なんでも言ってもらえるような雰囲気作りのため、家族会や、運営推進会議、頼りの発行等、特に訪問時は常に問いかけ、話しかけるよう職員全員に周知はさせているが、家族会は昨年11月に始めたばかりで、今後利用者・家族等の意見を更に出し易くして行く工夫が必要となる。	家族会を定期的を開催したり、意見箱の設置、行政相談窓口の紹介としてパンフレットを置いたりする等を通して、利用者、家族からの意見を引き出せる機会を増やし、それを元に質の確保に繋げて行く。	①年に3回以上家族会を開催する。 ②意見箱の設置。また、行政相談窓口の紹介を含めて、行政機関のパンフレットも設置する。	12ヶ月
2	33	家族の面会時等に、意思の確認をする事はあるが、現在は具体的な話し合いは行っていない。	家族会の場で、重度化や終末期に関して話し合う場を設け、利用者や家族と終末期に関して話し合う機会を定期的に設けていく。	①家族会のテーマを「重度化や終末期について」とし、話し合う機会を設ける。 ②終末期のあり方の選択肢を紹介し、年内に1度以上は終末期に関して話し合う場を利用者全員に設ける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。